

夢庭心通信

Yume Niwa Kokoro
Communication

Vol. 8
夏号

平成27年8月発行

四季を楽しめる庭。
巡る季節を感じられる庭。



千葉県八街市 O様邸。

「水辺のあるドッグラン」

ペットの大好きなO様。愛犬が自由に遊べる広々としたお庭の床面には、足にやさしいゴムチップを採用しました。また、息子さんが金魚を育てたいとの事でしたので小川と池を設け、水のせせらぎも楽しめる涼しげなドッグランが完成いたしました。

(施工担当：鎌形 拓朗)

お庭にどんな樹木を選び配置するかは、住まい手の個性や思い出・四季折々の変化など、樹木の持つ表情によって変わります。

今回の研修で学んだ中で、特にオススメな樹木をご紹介します。



ハレーシア・カロライナロゼア

私が一番感動し、沢山の樹木の中で目を引いたのは「ハレーシア・カロライナロゼア」です。

淡いピンク色で清楚なベル型の花です。

白い花もあり、そちらは「ハレーシアマンティコラ」と言うそうです。

開花は、4月上旬～5月。下向きに咲くので、樹木を見上げると花全体を見る事ができ、自分だけに花が咲いていてくれるようで魅了されてしまいます。

葉は秋に美しく黄葉し、花後は実がなります。耐寒性・耐暑性とも強く強健との事。

管理もしやすいので、オススメです。

緑一色になりがちな樹木ですが庭のアクセントとなる樹木としてご紹介したいのが

「トウカエデ(ハナチルサト)」です。

芽出しの頃は、花びらと見間違えてしまう程薄い葉で、薄ピンクから白黄色、夏には光沢のある緑色。

秋は、赤橙・紫紅色と彩り豊かな紅葉になり、別名「メイプルレインボー」と名付けられたほど。



トウカエデ(ハナチルサト)



勉強会の様子

季節をめぐって幾重にも楽しめ、背景が暗い場所に植栽すると周囲を明るくしてくれて、建物の印象まで変えてしまう魅力ある樹木達。

庭空間にかかせない大切な役割を果たしてくれる「樹木」をもっともっと勉強し、皆様に提案出来るよう頑張ってます。(設計部：齋藤 優美子)



樹木勉強会参加の感想

今回勉強会に参加して一番感じたことは、まだまだ自分の知らない植木が沢山あるということでした。

これまで庭の仕事に携わってきて多少は知っているという自信があったのですが、見たものの殆どが新しくとても刺激になりました。その為か学名で木の名前をサラッと説明されていた園主・繁田さんがとてもカッコよく見えました。

(山本 和央)

4月26日に実家の畑で行われた樹木の勉強会に参加しました。

私が幼い頃になんとか見ていた畑の樹木も、この仕事をはじめから、花芽を持つ時期はいつなのか、常緑樹なのか、落葉樹なのか等、前とは違った見方で臨むことが出来ました。樹木の名前も覚えつつ、その木の特性なども知っていなくてはいけないということを再確認できた見学会になりました。そして取り入れた知識を仕事で活かせるよう日々精進していきたいと思えます。

(繁田 幹)



作庭当初



剪定前



剪定後

中央のノムラモミジ(赤い葉)が成長し、流れの両端のクロマツが大きく成長し、庭に落ち着きが出てきました。樹木の成長を楽しむのも庭を觀賞する一つのポイントです。

Y様邸手入れ

当社が作庭してから4年が経過した庭です。樹木を一本一本剪定するというよりは、空間を整えるという事を意識して剪定し管理しています。自然な感じの庭、自然な感じの剪定を心掛けています。人間が造り出す自然を意識し、樹木特性に適した剪定を行っております。

(施工担当: 廣瀬 竜一)

安藤丈夫♡還暦を祝う会

6月27日(土)、勤続17年・安藤丈夫の還暦祝いを行いました。初めに、“赤いちゃんちゃんこ”をスタッフの子供達(心春ちゃん・葵ちゃん)に着せてもらい、会はスタートしました。

親方のお祝いの言葉の後、安藤から親方・おかみさん・社員みんなに感謝の言葉が述べられました。

その後、ケーキとプレゼントを子供達(一真君・伊吹君・実槻君)から、一番若手スタッフの成毛から赤い鞘に収まった刀をプレゼントされるなど、心のこもったお祝いの会となりました。

還暦を迎えて、益々元気に頑張る安藤をこれからも宜しくお祝い致します!!



エクステリア部 廣瀬 道法

スタッフ紹介

今回ご紹介するのは、勤続12年・エクステリア部所属の廣瀬道法です。

仕事をする上で心掛けている事は、後輩たちを指導しながらも、自分の事を見つめ直す事だそうです。趣味は“バス釣り”で、休みの日は早朝3:45に起きて近所の川へ出掛けて行くそうです。事務所では、パソコンのデスクトップに、釣上げたブラックバスの写真が!! (女子には不評ですが(笑))

これからの目標として、健康に気を付け、お客様に喜んで頂ける様なご提案が出来るよう邁進していくとの事でした。
(インタビューア: 久保木 裕子)

「さくらのきもち」

この春、80歳となった私(染井吉野桜)は人間の手助けを受け、ようやく生き延びられた。人がたくさん集まり、私を見て、「良くこんなに咲かせたね。」「去年より、花の数が多いかもしれないね。」と喜んでくれ、感動し写真も撮ってくれた。

どうにか花が咲けたのも、昔から私を知っている植木屋が治療してくれたお陰なのかも知れない。でもはっきりと「これは延命治療だよ」と彼に言われた。

それは一月末の事だった。

彼は私の根周りを掘り、黒く腐った箇所を切り取り、腐り止めに「トップジンM」なる薬を塗ってくれた。土を埋め戻す際には「MOX」なる発根剤を水と一緒に与えてくれた。

そして、栄養となる肥料は、土の上からパラパラと。

次に彼は、私の胴(幹)をしきりに玄能で叩いたり、手でなでたりしている。私の体はポロポロで皮膚にはヨロイゴケや、ウメノキゴケがびっしりとこびりついている。



代表取締役 廣瀬 辰臣



専務取締役 廣瀬 竜一

弱ってくると余分な物がついてくるらしい。高圧洗浄機なる物で洗ってくれたが、あちこちが空洞になっていて皮一枚で保っている所もある。昔、枝を切られた所から腐り始めたのだ。

彼は、アリの巣になっている腐った所を、ノミ等を使ってきれいに掃除をしてくれ、またさっきの「トップジンM」を私のお腹の中まで塗ってくれた。

最後は石灰イオウ合剤で、体をすっかりお化粧してくれた。

「ああ、さっぱりした。ありがとう植木屋さん。」

でも、彼は最後に言った。「あとはお前さんがどれだけ頑張るか、やれる事はやったよ。」となでくれた。

後で聞いた話だが、彼が庭師になるきっかけは17歳の時「水上 勉著「櫻守」」を読み感動し、庭師の道に入りたい。変わった男がいたもんだ。

スタッフのおすすめスポット

第4回 DIC川村記念美術館

住所：佐倉市坂戸 631 TEL.0120-498-130

今回担当する笹倉のおすすめスポットは佐倉市のDIC川村記念美術館です。

幅広いジャンルの作品を常設展示している美術館はもちろんのこと、四季折々の草花を楽しめる庭園を散策することができます。

美術館でモネの『睡蓮』を見てから庭園内の池に咲く睡蓮を見るなんていかがでしょうか？ 施設内にはレストランもありますので散策に疲れたらほっと一休みすることもできます。

(笹倉 宏太)



編集後記



「夢庭心通信VOL.8」

では、安藤丈夫の還暦祝いの様子をお伝えしましたが、もうひとつ廣瀬造園におめでたいニュースが舞い込んで来ました。設計部・八嶋美和に待望の長男が産まりました！しかも、安藤と同じ6月9日産まれです！！縁を感じますね。

名前は「小太郎君」と言います。大きな、大きな小太郎君が健やかに育つ事を願い、編集後記に掲載させていただきました。新たな命を迎え、社員一同より一層頑張らないと！！

(編集後記担当：久保木 裕子)

(有)廣瀬造園では、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。ご送付を望まれない方は下記連絡先までご一報ください。

有限会社 廣瀬造園

〒287-0061 千葉県香取市谷中42-1
TEL.0478-54-6488 FAX.0478-54-3348
E-mail info@hirose-zouen.com

www.hirose-zouen.com/

廣瀬造園

検索



QRコードからもHPをご覧いただけます。

代表取締役 廣瀬 辰臣
顧問 裏千家茶道教授業 奥主 宗章
石田労務行政事務所 社会保険労務士 石田 武
日本リーディング法律事務所 弁護士 野口 明男
松下会計事務所 所長 松下 光弘
創業設立 昭和52年4月 廣瀬造園設立
平成4年12月 有限会社 廣瀬造園設立
資本金 3,000,000円
取引銀行 ・佐原信用金庫本店
・銚子商工信用組合佐原支店
建設業許可 千葉県知事許可(般-5)第31548号
造園土木業
従業員数 25名

資格 1級造園施工管理技士：2名
1級造園技能士：2名
2級造園技能士：1名
2級土木施工管理技士：2名
千葉県農業管理指導士：2名
2級造園施工管理技士：5名

1級エクステリアプランナー：2名
2級エクステリアプランナー：3名
2級建築士：2名
ブロック塀診断士：1名
職長安全衛生責任者：3名
カラーコーディネーター：1名
インテリアコーディネーター：1名

事業内容 ●造園…各種造園設計施工(和風庭園、茶庭、ペットガーデン、苔を使った屋上緑化、ガーデンエクステリア、デザインコンクリートシステム)
●緑地管理…緑地維持管理工事(個人庭園、社寺、ホテル、工場、公園、学校、病院、官庁)などの樹木整枝、清掃、殺虫・殺菌剤散布、施肥一式

会社理念 ①お客様が安心、満足、納得のいく仕事をする事
②参画する職人が各々技術の向上を目指し、後世に残る良い作品造りをする事
③地域社会に微力でも貢献する事